



海の中道大橋から立花山を望む

写真：田中 清実 保護司



東風

発行責任者
福岡市東区箱崎 1-32-1
福岡市東保護区保護司会

会長 藤野重久
編集 総務部

引き続き、皆様のお力添えを

福岡保護観察所長 古山 正成



本年四月一日付
けで近畿地方更生
保護委員会事務局
から異動してまい
りました古山(こ
やま)と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。
はじめに、福岡市東保護区の更生保
護が、保護司の皆様を始めとする更生
保護関係者各位の御尽力と、自治体を
始めとする関係機関・団体各位及び経
済界を始めとする各界の皆様、そして
地域の方々からの幅広い御支援と御協
力により、充実した制度として営まれ
ていることに対し、心から敬意と感謝
の意を表します。

私は千葉県の出身で、これまで関東
管内及び近畿管内の勤務が大半であ
り、福岡保護観察所及び九州管内での
勤務は初めてですが、東保護区の更生
保護関係者の皆様に区内各地の実情等
を御教示いただきながら、東保護区の
更生保護の充実と発展のために微力な
がら精一杯つとめてまいりたいと思っ
ております。

さて、このたびの新型コロナウイルス
の感染拡大により、皆様方におかれ
ましても、日々の生活や健康面におい

て様々な影響を受けられたのではと案
じております。もし、ご家族始め関係
の方々にご闘病中の方などがおいで
でしたら、一日も早いご回復を心から
祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大とい
うこのような事態が沈静化するまで
は、なお一定期間を要し、いわば持久
戦の厳しさが見込まれます。そして、
事態が沈静化した後も、関係者への影
響が尾を引くことも考えられます。こ
のような中であればこそ、更生保護の
志を同じくする保護司、更生保護女性
会員、BBS会員、更生保護施設、協
力雇用主、就労支援事業者機構、更生
保護協会の皆様の強固な横の連携と、
共助の精神がますます大切であり、
我々の拠り所となります。更生保護制
度施行七〇周年を機に「力を合わせよ
う」と心を一つにしたその思いの真価
が問われるときが、図らずもやってま
いりました。更生保護関係者が一丸と
なり、力を合わせてこの難局を乗り
切っていくよう、保護観察所として
も最大限の努力をしてみたいと考
えておりますので、引き続き皆様のお
力添えを心からお願ひ申し上げます。

信条

- 私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって
- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
 - 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え犯罪や非行の予防に努めます。
 - 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

安らかに。 下川常雄保護司・高橋信昭保護司

下川保護司との思いで

協力組織部長 宮崎 雅敏

「今月は社会参加の筈ほりばい。いつもの段取り頼むばい。」に「はい、わかった。」と下川部長の元気な声。当日には、我々よりも早く現地で準備万端やつてくれていたのが、昨年までで…。その後、体調不良になられ、みるみる間に痩せ衰えていかれたのが、嘘の様であった。

名島神社の清掃活動にも、苦しかっただろうが、部長としての使命感で来られていたのが痛々しかった。「下川さん、もうそこに座つときかない」と言うのが、関の山だった。亡くなられる数日前、下川さんから電話で、「もう自分が山まで行く事が出来ないから鍋、釜、取りに行こう。」「そうしたら迎えに行こうか。」「いやよかばい。車運転なら大丈夫やけん。倉庫まで運転していくけん。」これが、私と下川さんの最後の会話となった。最後の最後まで、保護司活動の事を思つて下さった下川保護司には、感服した。 合掌



ホゴちゃんと一緒にの下川保護司

二人の師

第四分区 疋田 敏明

酒好き・世話好き・話好き・釣り好き・一途な性格・私の師匠等々の共通点を持った二人の保護司があつた。世に旅立つた。

二十年前、私が保護司を拝命することになったのは、下川先生の強引な誘いによるものであつた。保護司の使命や保護司会の運営等、保護司のイロハは高橋先生から教わつた。

お二人とは良く酒を酌み交わした。私は日本酒が苦手だったが下川先生の影響で嗜むようになつた。ビール党であつたが高橋先生の影響でハイボール党に鞍替えした。

お二人には良きことと悪しきこと、ご教授頂きたかつた事が山ほど残っているのに、残念で・悔しくて・淋しくて途方に暮れている。かけがえのない二人の師のご冥福を心より祈り、感謝申し上げます。続いている。

尊敬する先輩方へ

第四分区 草野 崇敏

今年三月に二人の先輩が亡くなられました。一人は町内の先輩の下川保護司で体育指導員や少年指導員をされ子供達も大変お世話になりました。小学生の餅つき大会に軽トラックいっぱい

に薪になる材木を積んで、お世話を積んで、お世話してある姿がとても印象的でした。



平成28年10月 山口1泊研修
下川氏・右から2番目 高橋氏・前列左から3番目

もう一人は郵便局長の先輩の高橋保護司です。知り合いが九州各地にいてその豊富な知識でみんなを指導してくださいました。仕事で会う機会が多く保護司の事もたくさん助言していただき地域行事でも頼りになる先輩でした。

自分に厳しく人には優しい性格の先輩方のお酒も好きで、酒席でたくさんの経験談を話してくれました。お二人に学んだことを保護司活動に活かしていきます。どうか見守ってください。

高橋保護司との思いで

総務部長 田中 清実



高橋保護司、瑠璃光寺にて

三月一日、高橋保護司の釣り事故による訃報が入りました。まさか、そんなことはないかと最初は信じられませんでした。

私は高橋保護司とは総務部として、四年前から行事を一緒にすることとなりました。事業や懇親会の企画など楽しいことばかりが思い出されます。特に、今年の理事懇親会でイタイタイゲームでは孫のゲーム盤を借り出し、孫は「どうのこうの…」など話しながら説明をし、大いに盛り上がったことを思い出します。企画調整保護司・総務部長・市保連事務局長として大変忙しい業務の中、趣味である「釣り」は欠かせませんでした。その一番好きな場所です。最後になるとは…。

今も多くの方から「残念やね」の声を聞きます。どうか、天国で下川保護司と二人で東保護区保護司会を見守つて下さい。最後に、お二人が安らかに永眠されることをお祈り申し上げます。

シリーズ
多機関連携
を目指して

11

地域での生活安定に
向けた取組み

福岡県地域生活定着支援センター
センター長 小畑 孝仁

福岡県地域生活定着支援センターは、矯正施設を出所する福祉的支援が必要な高齢者や障がい者の社会復帰支援を二〇一〇年七月より行っています。住居や家族等の受入れ先がなく福祉的な支援が必要な方が対象となります。

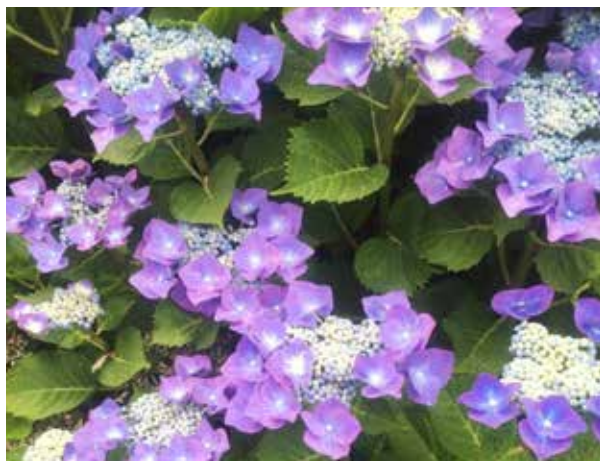
主な業務内容として、①保護観察所からの依頼に基づき、矯正施設入所中に、住まいの斡旋や必要な福祉サービスを受けられるように調整を行う「コーディネート業務」、②矯正施設出所後に対象者を受け入れた事業所等に必要の助言等を行う「フォロワーアップ業務」、③矯正施設から出所した対象者の福祉サービス等の利用に関して、本人やその関係者からの相談に応じ、助言等必要な支援を行う「相談支援業務」があります。日頃から、保護観察所や刑務所等と連携を図りながら、矯正施設入所前から出所後も継続して支援を実施しています。

対象者の中には、これまで必要とされる支援を受けてこなかった方も少なくありません。また、犯罪を繰り返してしまう背景として、生活困窮状態に

置かれていることや頼れる人がおらず社会的孤立に陥っていることが挙げられます。さらに、アルコールや薬物依存症等の課題を抱えているケースもみられます。対象者の抱える課題が多岐にわたる中、本人が出所後に安心して生活できるためには、福祉・医療保健・司法・行政機関等、より多くの支援者の協力や連携が必要であると痛感しています。

専門機関がそれぞれの強みを活かし、対象者を支える体制の構築が求められます。そして、多機関が関わり支援を行うことが、結果的に再犯防止につながるものと考えます。

最後になりましたが、保護司の皆様のご理解をいただきながら、ますますの連携が図れることを願っております。今後も福祉的支援が必要な対象者の支援の拡充に向けて取り組んでいきます。



新担当保護観察官紹介

保護観察官 前田 雅美



今年度、東保護区四、五、六分区を担当させていただきます。新型コロナウイルスの影響で保ります。新型コロナウイルスの影響で保護司研修等が中止となり、保護司の先方にお会いしてのご挨拶はできていませんが、報告書や電話等により先生方の熱心なご指導や温かさを感じ、私自身、元氣やパワーをいただきながら過ごしております。

前年度までの六年間は会計業務を担当していましたので、初心に返り一から学ぶ気持ちです。対象者が再犯再非行をしない明るい未来に向かって動き出せるよう指導に励みたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

感謝の心

平井 登

平成八年四月より保護司になり、令和二年三月末を持って、保護司活動を終えました。その間、二十四年の間、皆様にはご指導・ご鞭撻を受け、又ご協力をして頂き、大変お世話になりました。感謝、感謝の気持ちで一杯です。

五ヶ月の入院、今年二月八日退院しても、家まで来訪され、体調を聞きに大変感謝しております。現在はりハビリや、又訪問看護をも受けており、少しずつ元気になり、好きなゴルフも出る様になっていきます。ゴルフの時は声をかけて下さい。又志賀島方面にこられたら、是非お寄り下さい。今年度は新型コロナウイルスのため、行事等中止になる事が多くなっています。皆様におかれましても、どうぞご自愛下さい。

来る様になっていきます。ゴルフの時は声をかけて下さい。又志賀島方面にこられたら、是非お寄り下さい。今年度は新型コロナウイルスのため、行事等中止になる事が多くなっています。皆様におかれましても、どうぞご自愛下さい。



サポート
センターだより

総務部副部長 永島 紀子

令和二年度のスタートは、新型コロナウイルスという未知のウイルス感染症の出現で、異例の対応を迫られました。

感染拡大防止で緊急事態宣言が出され行動の自粛が求められる中で、保護司会でも「定例総会」の中止を決定し、「書面表決」による議決としました。

予定された「定例研修」「社会参加」等の機能部会の活動、関係機関等の会議出席も全て中止となる中、保護観察も六月末まで電話での対応、報告となる等、その連絡対応に追われました。

緊急事態措置は五月二十五日全国的に解除されましたが、本年度の事業計画がどの程度実施できるかは全く不透明な状況です。

いままでと違う日常のなか、「普通」という事がいかに幸せで大事なことか、あらためて考えさせられる毎日です。



「地域への感謝の気持ちで」

第一分区 杉島 直樹



一昨年からPTA活動を契機に、様々な地域活動へ参加するようになり... 活動を通じて、これまで地域のみならず支えられてきたことを実感し、微力ながら自分もお役に立てることがあるのではないかと... 頂戴し、このたびお受けさせていただくこととなりました。

変化が激しく不安定な状況の中、求められる社会的使命は重く、身が引き締まる思いでございます。不安な気持ちもありますが、様々な人と関わり、考え、行動することで自らも成長でき、地域へのお返しができるものと思います。

諸先輩方よりお力添え賜りながら、自分なりに精一杯、そして積極的に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「コロナに負けず前へ進もう」

第一分区 濱本 律子



今年度より、保護司を務めさせて頂く、濱本律子と申します。

新型コロナウイルスの影響で、研修も出来ず、不安なスタートになりました。女性消防団を、定年したタイミンで、保護司の先輩からお誘いを頂きました。体を動かす事には慣れている

東風吹かば。

分区日記

新型コロナウイルスの収束を願って

第4分区 今村 利弘

第4分区は香椎第1・松崎・城香・照葉の4中学校校区(8小学校校区)にて、14名の保護司で活動中です。分区会議は、毎月理事会開催後にその内容報告を含め、なみきスクエアにて開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東保護区保護司会「定例総会」は書面表決となり、対象者との面接は電話やメールでの対応と、皆様も大変な気苦労をされていることと思います。

学校関係も登校をはじめ、卒業式入学式等様々な行事や活動が、延期や縮小・中止に追いつまれています。

分区会議も会議終了後の会議以上に楽しみな情報交換も、3月より実施できない状況が続いています。分区の情報交換会等で利用させていただいていたお店も大変な状況の中、西鉄香椎駅前で料理飲食店組合が協力しあい、テイクアウトステーションとして頑張っています。

非常事態宣言は解除されましたが、一日も早い新型コロナウイルスの収束と、保護司活動の再開を願っています。(頑張っているお店での情報交換会の再開も含めて!!)



「不安と楽しみ」

第六分区 安河内浩巳



この度、新しく保護司になりました安河内浩巳です。お話を頂きこれま

のですが、まったく経験のない、ましてや思春期の青年達とのコミュニケーションがうまく取れるのか、色々な事を考え悩みました。しかし考えているだけでは前へ進まない気持ち切ります。勉強の機会を与えて頂いたと思ひ、お受け致しました。

対象者の心情に寄り添い又、保護司として、皆様方のお役に立てるよう、勉強させて頂きます。どうぞ御指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

でお世話になった地域の皆様のお役に立つのであればと思ひ引き受けさせて頂きました。

新型コロナウイルスが猛威を奮っている事もあり、行事や研修会が中止や延期となつてはいますが、今の自分ができる事を探しコツコツやっています。仕事柄、自動車も好きですが人も大好きです。もちろん不安もありますが、どのようになるか楽しみみです。私自身が保護司として成長することが大事だと思います。

対象者の心情に寄り添えるように、先輩保護司の方のご指導と保護観察所の皆様の助言を頂きながら頑張っています。どうぞ宜しくお願いします。



保護司異動

退任保護司 (令和2年3月30日付)

第一分区 御田 マキ子

第一分区 有木 一夫

第二分区 小森 初男

第六分区 裏辻 定弘

第六分区 平井 登

第六分区 吉村 健一

永い間のご尽力ご苦労さまでした。

新任保護司 (令和2年3月31日付)

第一分区 杉島 直樹

第一分区 濱本 律子

第六分区 安河内 浩巳

みなさんよろしくお願ひします。

転任保護司 (令和2年5月1日付)

第二分区 芝田 良倫

八女保護司会へ

編集後記

夏空がまぶしい季節となりました。まずは、東風四十八号にご寄稿くださいました皆様に心からお礼申し上げます。

「東風」夏号は、毎年桜の季節に編集会議をスタートさせ、夏真っ盛りの七月に完成します。その会議は、例年ならば顔と顔をくつき合わせてのワイワイガヤガヤ光景なのですが、今回は場所も広い部屋に移し、ソーシャルディスタンスをとっての会議となりました。ちよつと寂しかったかな。

でも、もつと寂しいのは下川先生と高橋先生のこと。仲が良かったお二人の小気味良い会話を思い出しては今でも涙が出ます。どうぞ安らかにお眠りください。M.K

